

新病院の移転候補地



※ 移転候補地は平成30年1月時点の状況です。

アンケートに関するお問い合わせ先

船橋市 健康福祉局 健康・高齢部 健康政策課 企画係
 電話 047-436-2502
 受付時間 午前9時から午後5時まで(土・日・祝日は除きます)

医療センターが生まれ変わります！

～新しい医療センターについてみなさまのご意見をお聞かせください～

医療センターは、昭和58年の開院以来、高度な医療と救急医療を中心に、質の高い医療を提供しています。しかし、開院から35年が経過し、次のような課題が生じています。

- ・ 建物・設備の老朽化や狭くゆとりがないこと
- ・ 機能の拡充や、高度化する医療技術への対応が困難
- ・ 現在の施設では、高度な治療を希望するすべての患者に応えきれない

早期の全面的な建て替えが必要

現在の船橋市立医療センターの概要(平成30年1月現在)

【所在地】	船橋市金杉1丁目21番1号
【敷地面積】	23,304.59㎡
【建築面積】	10,626.85㎡
【延床面積】	36,409.52㎡
【診療科】	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、代謝内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科(27科)
【病床数】	449床(一般病床)



現在の船橋市立医療センター

現在の医療センターが担っている役割

医療センターは、救急医療を主体とする高度急性期医療を担う中核病院として、患者さんに信頼される医療を目指し、安心できる高度医療を提供しています。

地域医療支援病院

- ▶ 患者の日々の病気やケガを診る「かかりつけ医」（地域の診療所）と連携し、手術や入院が必要な場合は、医療センターが治療を行うようにネットワークを築いています。また、地域の医療関係者の研修なども行っています。

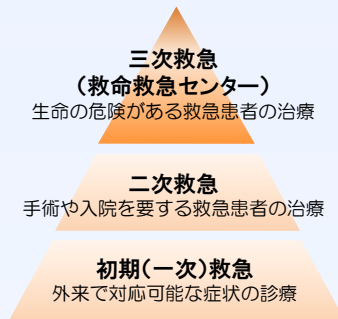


救命救急センター(三次救急医療機関)

- ▶ 市内唯一の「救命救急センター」として、一刻を争う重篤な救急患者に集中治療などを行うほか、24時間365日救急患者を受け入れています
- ▶ 24時間体制で医師が同乗して現場に赴く、「ドクターカーシステム」を全国に先駆けて導入し、救命率の向上に大きな効果をあげています



ドクターカーシステム



高度医療を担う総合診療機能

- ▶ 多様な診療科の専門医が連携し、急性心筋梗塞や脳卒中、がんなど、高度な技術や専門性を必要とする医療を提供しています
- ▶ 内視鏡治療やカテーテル治療など、患者への身体的な負担が少ない治療を実施しています



心筋梗塞に対する冠動脈カテーテル治療

地域がん診療連携拠点病院

- ▶ 抗がん剤治療や放射線治療など、高度ながん診療を行っています
- ▶ がん終末期の患者に対して、患者・家族の意思を尊重して、その人らしく過ごせるような「緩和ケア」を提供しています

災害拠点病院

- ▶ 災害時に多発する重篤患者の治療や、災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣などを行っています

臨床研修指定病院

- ▶ 臨床研修病院の指定を受け、医師の育成に寄与しています

新病院は現在の役割をさらに充実させた病院を目指します！

新病院は、新しいまちづくりの予定地内に移転し“まちの中核”となります

現在、市では、市域の中心部に位置し、中心市街地にも近い海老川上流地区で、**医療センターの移転**と、東葉高速線の**新駅の誘致**を核とした、海老川上流地区のまちづくりを進めています。このまちづくりでは、医療と健康をコンセプトにした「ふなばしメディカルタウン」の実現に向け、検討を進めています。新しい医療センターは**新駅の近くに移転し、交通アクセスが向上**されます。（移転候補地は4ページを参照）

～新病院の概要～

- 【所在地】海老川上流地区土地区画整理事業予定地内（船橋市米ヶ崎町及び高根町周辺）
- 【敷地面積】40,000㎡程度
- 【建築面積】10,000～11,000㎡
- 【延床面積】50,000～55,000㎡
- 【診療科】現在の診療科（27科）※平成30年1月現在
＋
内科系診療科などの充実
- 【病床数】500床程度



新しいまちづくりを彩る海老川の桜

高度化する医療技術へ対応し、さらに快適な療養環境へ

最新治療や高度化する医療技術に対応

- ・高機能な手術室を完備するとともに、最新の高度医療機器・手術支援ロボットを導入し、日々進歩する医療技術に対応します
- ・救急患者や手術後の患者に集中的な治療を行うICUをさらに充実します



救急患者の受入体制をさらに強化

- ・救急の処置ベッドや人員を増やし、重症患者の受入体制をさらに強化します
- ・救急医と専門医が連携して、市民の命を守ります

災害時にも市民の命を守る病院

- ・建物を免震構造にし、災害時の広域的な救急搬送のためにヘリポートを整備して、より市民の安全を強化します

総合病院としてより多くの診療科を充実

- ・内科系などの診療科を充実し、様々な医療ニーズに対応します



快適に過ごせる病院

- ・外来の診察室を増やし、待ち時間を短縮します
- ・レストランなどの便利施設を充実します

患者中心の医療を提供

- ・患者への身体的な負担が少ない治療を積極的にを行います

医療の発展に貢献

- ・質の高い臨床研究を目指し、積極的に治験に参加します

整備スケジュール

建設用地確定後、スムーズに設計・建設に着手し、**平成35年度(2023年度)末の開院を目標**に、事業に取り組んでいます。

